



第31期

環境経営レポート

【活動期間】2023年2月～2024年1月

【発行日】2024年2月9日

株式会社 ショーワ

目 次

1. 会 社 概 要	P 1 ~ 2
2. 許可取得・登録の内容	P 3
3. 事 業 概 要	P 4
4. 環境理念と保護方針	P 5
5. SDGs への取り組み	P 6
6. 環境経営目標	P 7
7. 2023年度環境負荷実績	P 8
1) コピー用紙使用量		
2) 水使用量		
3) CO2 排出量		
8. 環境経営目標及び当期実績 (中期計画含む)	P 9

9. 環境経営活動計画の内容・取組結果 と評価・次年度の取組内容	P9~10
10. 環境関連法規等の遵守状況の 確認・評価の結果並びに 違反・訴訟等の有無	P10
11. 代表者による全体評価と見直し 指示の結果	P10



1. 会社概要

【事業者名及び代表者名】

株式会社 ショーワ

代表取締役 齊藤 純一郎

【所在地】

本社 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 78 番地 3

営業所 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 78 番地 3
神田 NY ビル 2F

Tel 03-5823-0151 Fax 03-5823-0152

駐 車 場 〒376-0121 群馬県桐生市新里町新川 4005-1

【事業内容】

- ・産業廃棄物の収集・運搬業
- ・産業排出物のリサイクル及び処理等のコンサルティング業
- ・化成品販売業務
- ・各種清掃業務

【設 立】

平成 5 年（1993 年）9 月

【事業の規模】

- ・資本金 20 百万円
- ・売上高 令和 5 年度 438 百万円
- ・従業員数 8 人（令和 6 年 2 月末時点）

【環境管理責任者 及び連絡先】

環境管理責任者 竹中 文彦

Tel 03-5823-0151 Fax 03-5823-0152

e-mail takenaka@shohwa.co.jp

連絡先担当者 出口美夕起

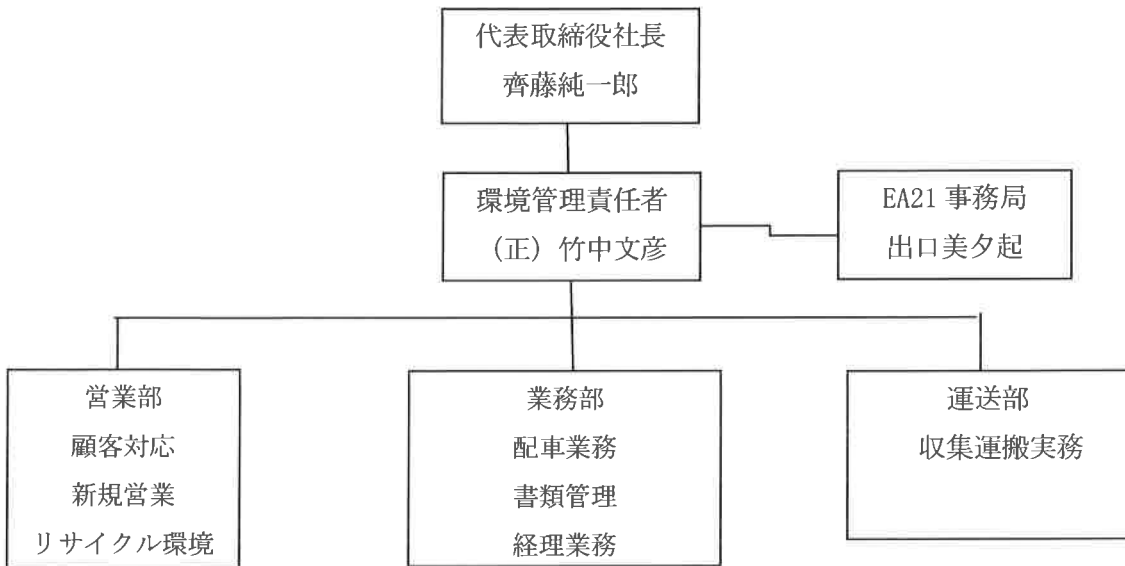
Tel 03-5823-0151 Fax 03-5823-0152

e-mail deguchi@shohwa.co.jp

【組織図】

株式会社ショーワ エコアクション21組織図

2024年2月9日更新



区分	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 環境管理責任者を任命 代表取締役社長による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築・運用する(代表者からEA21の権限を委任) 実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限) 環境目標・環境活動実施計画書/実績表の作成 教育・訓練の実施を指示 環境上の緊急事態への準備・対応 環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 環境活動レポート作成 環境活動の取り組み結果を代表取締役社長へ報告
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> EA21の推進(環境管理責任者の指示を受けて) 環境への負荷及び取組チェック実施 環境関連文書・記録の管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標及び環境活動計画の実施・確認・評価、達成状況の報告 環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 実施上の問題点の是正・予防処置実施 環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 EA21で決められた各自の役割を実施

2. 許可取得・登録の内容

【産業廃棄物収集運搬業に関する情報公表】

産業廃棄物収集・運搬業			廃棄物の種類										
許可自治体	許可番号	許可年月日 有効期限	汚泥	廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス・コンクリート	がれき類	燃え殻	ばいじん	鉱さい	動植物性残さ
福島県	第 707043202 号	令和 2 年 7 月 15 日 令和 6 年 6 月 4 日	○	○				○	○				
茨城県	第 801043202 号	令和 4 年 9 月 1 日 令和 9 年 5 月 20 日	○	☆	○	○	○	☆	☆	○	○	○	○
栃木県	第 900043202 号	令和 3 年 11 月 5 日 令和 8 年 11 月 4 日	○	○	○	○	○	☆	☆	○		○	○
埼玉県	第 1107043202 号	令和 4 年 3 月 28 日 令和 9 年 2 月 24 日	○	☆	○	○	○	☆	☆	○	○	○	○
千葉県	第 1200043202 号	平成 29 年 11 月 6 日 令和 6 年 7 月 2 日	○	☆	○	○	○	☆	☆	○	○	○	○
東京都	第 13-00-043202 号	令和 4 年 1 月 17 日 令和 9 年 1 月 16 日	○	☆	○	○	○	☆		○			○
神奈川県	第 1402043202 号	令和 4 年 9 月 28 日 令和 9 年 7 月 31 日	○	☆	○	○	○	☆	☆	○	○	○	○
静岡県	第 2201043202 号	令和 4 年 7 月 26 日 令和 9 年 7 月 25 日	○		○								
群馬県	第 01000043202 号	令和 4 年 7 月 4 日 令和 9 年 7 月 3 日	○	☆	○	○	○	☆	☆	○	○	○	○

積替え保管、中間処理、最終処分の許可は有しません。

☆は石綿含有産業廃棄物を含みます。

【毒劇物販売業登録】

第 3101070059 号 有効期限：令和 1 年 12 月 25 日～令和 7 年 12 月 25 日

3. 事業概要

【収集運搬に関わる事業の規模】

	2021年度 (2021年2月～2022年1月)	2022年度 (2022年2月～2023年1月)	2023年度 (2023年2月～2024年1月)
収集運搬量 (品目)	2,571 t (汚泥)	1,322 t (汚泥)	817.2 t (汚泥)
売上高(百万円)	14	8.3	5.1

【収集運搬車両】

車両の形状	自動車登録番号	最大積載量
脱着装置付コンテナ専用車	群馬130 た 538	10,600 kg
ダンプ	群馬130 つ 538	9,500 kg



群馬130 た 538



群馬130 つ 538

【リサイクル及び廃棄物コンサルに関わる事業の規模】

	2021年度 (2021年2月～2022年1月)	2022年度 (2022年2月～2023年1月)	2023年度 (2023年2月～2024年1月)
顧客数(件)	77	80	85
売上高(百万円)	319	325	331

4. 環境理念と環境経営方針

< 環境経営理念 >

地球環境の維持・改善が国際社会共通の最重要課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で環境保全に配慮した行動をする。

< 環境経営方針 >

全従業員参画の下で、産業排出物の資源化及び産業廃棄物の削減に努めると同時に環境マネジメントシステムの継続的改善を図ることにより環境保全に貢献する。また効果のある具体的活動を強力に推進し、健全な地球環境を次世代に引き継ぐため下記の方針を定める。

1. 適用可能な法令、規制、条例および当社が同意するその他の要求事項を順守して事業活動を遂行する。
2. 当社の事業活動が環境改善に貢献するために、環境汚染の予防に努めるとともに、以下の項目について優先的に環境管理活動を推進する。
 - a. クリーンな地球環境を基本とし、お客様の事業所より発生する産業排出物の削減に努め、排出物の資源化を提案する。
 - b. エネルギーと資源の利用効率を高め、省エネルギー・省資源に貢献する。
 - c. 紙類等の分別・再利用、リサイクルを推進する。
 - d. グリーン購入を積極的に推進し、資源の保護に寄与する。
3. 定期的に環境管理の実施状況を見直し、継続的改善を図る。
4. 環境教育・社内外の広報活動を通じ、当社の従業員および当社の活動に関係するすべての人の環境保全に関する意識向上を図る。
5. 環境経営方針および環境保全活動は、一般に公開する。

2012年7月1日

株式会社ショーワ

代表取締役 齊藤 純一郎

5 SDGsへの取り組み



持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国際サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当社はこれからもリユース・リサイクル活動をすることで、SDGsを意識した環境経営、エコアクション21に取り組んでいきたいと思ひます。

6 環境経営目標

2023年度は2016年度比1%減、2024年度には2016年度比1.5%減を目指します。
 項目により原単位での評価を検討し、新ガイドラインに向けての取り組みにあたり改めて基本理念に立ち返り、再度目標を設定し全員参加で達成出来るよう取り組みます。



◆二酸化炭素排出量◆
 省エネルギー
 事務所の消費電力の削減に努めます。



◆廃棄物排出量・製品◆
 省資源・サービス開発改良
 コピー用紙用紙の使用量削減に努めます。
 処分方法の変更・コストダウン

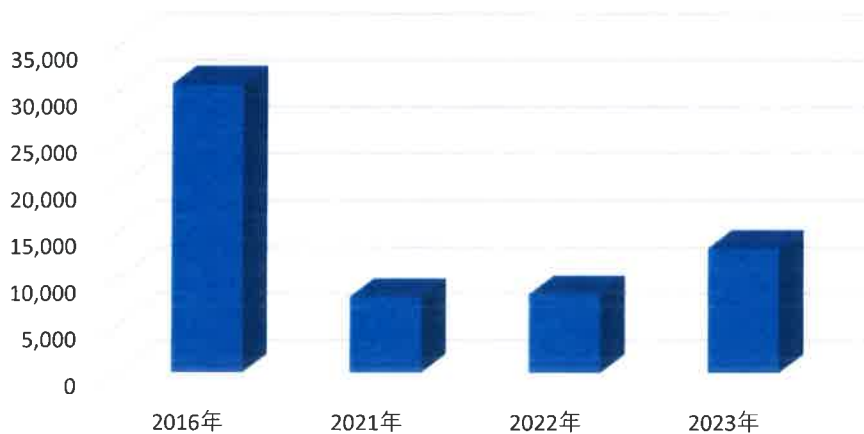


◆水使用量
 省資源
 水道水使用量の削減に努めます。節水の呼びかけ

	産業廃棄物の中には肥糧として有効活用・転用できるものが多くあることにいち早く気付いた(株)ショーワは、肥糧メーカーと連携し、未利用資源の肥糧化を進めています。この取組では廃棄物の減少だけに留まらず、肥料価格を抑えることで農作物の収穫を増やすことに繋がっています。
	【排出ガス低減に向けた取り組み】 安全運転意識の徹底(急停車・急発進・急加速をなくす) バイオマス燃料などの再生可能エネルギーの活用推進などを進めています。
	【産業排出物の資源化共同化の提案】 リサイクル・リユース 産業廃棄物処分の改善
	【省エネの強化】 昼休み時間の消灯 【コピー用紙使用量を減らそう】 両面印刷等再生紙を使用する 地球温暖化対策に関しては、ゼロミッションを目標とし、未利用資源の活用により気候変動の原因となる温室効果ガス排出の減少をお手伝いしています。
	化学物質や廃棄物を大気・水・土壌への流出を食い止める事をお客様とと共に取り組んでいます。 使用済みの工業用薬品を廃棄物にせず、再利用して頂けるユーザー様との橋渡しを行っています。
	(株)ショーワは産業廃棄物に関するあらゆる情報や、最新リサイクル情報などいち早く発信および共有することで企業間のパートナーシップを強化することに大きく寄与し、目標の達成に繋がっています。

7 2023年度環境負荷実績

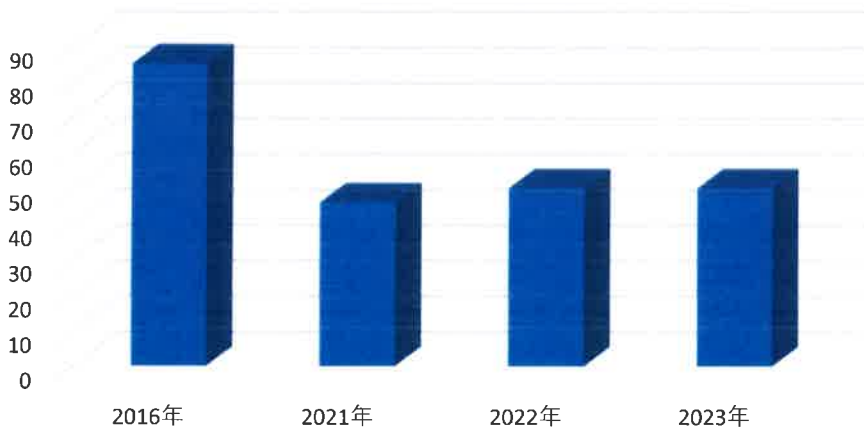
コピー用紙使用量の現状



■ 評価と今後の取り組み

2021年、2022年はFAX、ペーパーレス化した為、大きく減少となった。
2023年は企画書、見積書等案件が多かったため枚数が増えた
2024年度も継続してペーパーレスの徹底化

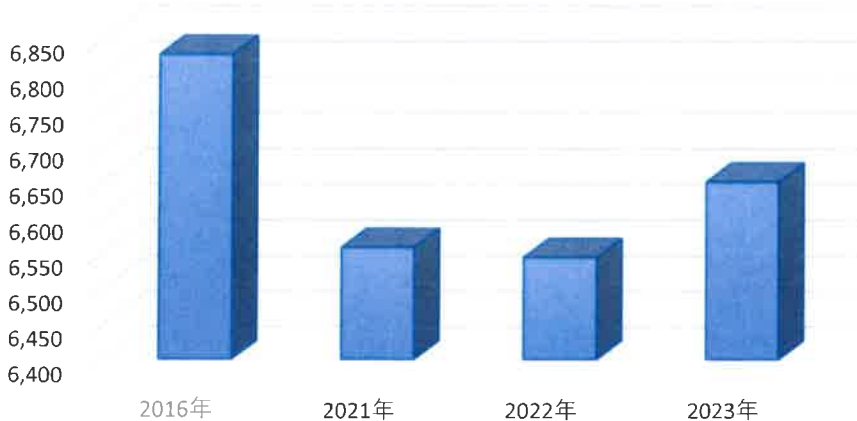
水使用量 (m³) の現状



■ 評価と今後の取り組み

2021年度節水を意識したが、2022年度は少し増えた。
2023年度も減少にはならず
2024年度は改めて節水に努める。

CO2排出量 (kg-CO2) の現状



■ 評価と今後の取り組み

お昼休憩時間の消灯節電
室温管理化に取り組む

8. 環境経営目標及び当期実績（中期計画含む）

項目	基準値 (2016年度)	2023年度		2024年度	2025年度
		目標	実績	目標	目標
消費電力の削減維持 (単位：kWh)	6,828	6,757	6,078	6,757	6,757
二酸化炭素排出量削減 (単位：kg-CO2)※	3,448	3,104	2,777	3,104	3,104
軽油の使用量削減 (単位：L)	(2022年度) 実績値 36,227	35,865	24,465	35,865	35,865
コピー用紙使用の削減維持 (単位：枚)	30,895	30,576	13,325	30,576	30,576
水道水使用量の削減維持 (単位：m ³)	85	84	49,5	84	84
グリーン購入率の向上維持 (単位：%)	31	31	19	31	31
サービス開発・改良 (顧客へ改善提案ポイント、単位：P)	230	243	144	243	243

※CO2 排出係数は 2016 年度東京電力(株)の実排出係数 0.4500kg-CO2/kWh を使用し算出。

※一般廃棄物は少量の為、目標に挙げていません。また、産業廃棄物は通常発生しません。

※化学物質は使用していません。

9. 環境経営活動計画の内容・取組結果と評価・次年度の取組内容

環境目標	環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
消費電力の削減維持 (二酸化炭素排出量削減)	①電力削減目標説明 ②節電呼びかけ ③昼休み時間の消灯徹底	昼休み時間消灯は定着している。晴れた日は日の当たる場所は消灯徹底	室温管理強化に取組み、更なる節電を心掛ける
軽油の使用量の削減維持	① 車輛点検 ② 整備の励行 ③ 空気圧の管理	エコ運転に心がける	継続して実施する
コピー用紙使用量の削減維持	①両面コピーの推奨 ②ミสปrintの削減 ④ 裏紙利用の周知徹底	裏紙利用は浸透し実施。FAX は印刷せずPDF化	会社案内などの営業資料の電子化を進め、今後も継続して実施する
水道水使用量の削減維持	①水道水削減目標説明 ②節水呼びかけ	節水については実施できている	継続して実施する
グリーン購入率の向上維持	①グリーン事務用品の購入優先	発注時確認している	継続して実施する

<p>サービス開発・改良 (顧客への提案件数) 顧客への改善提案件数の拡大 (具体的内容)</p> <p>①処分方法の変更 ・埋立→再利用化(商品化) ・焼却→再利用化(商品化)</p> <p>②コストダウン ・排出物処理費用削減 ・運搬費用の削減</p> <p>③エネルギー、効率</p> <p>④発生量の改善</p> <p>⑤輸送距離の短縮 (ルート、納入先等)</p> <p>⑥輸送効率の向上(車種)</p>	<p>1. 産業排出物の資源化 共同化の提案</p> <p>A ①リサイクル化 B ②リユース</p> <p>2. 産業廃棄物処分の改善</p> <p>C 埋立・単純焼却回避提案</p> <p>3. 産業排出物のコスト削減</p> <p>D ①処理費用低減提案 E ②リデュースの提案 F ③搬出方法の変更 G ④その他 顧客からの要望案件</p>	<p>行政の指導もあり大手排出事業者で産廃処理の商社排除が潮流となりつつある中、強みである有価物化に積極的に取り組み、石油精製業界を中心に有効な提案ができた。また、新規リサイクル技術で特許取得するなど、独自技術の開発にも取り組んでいる。</p>	<p>業務効率を改善し業績改善に有効な案件を優先しながら、更なる向上・改善を目指し実施していく。</p>
---	--	--	--

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反などの指摘は、過去3年間ありません。

法規名	順守すべき規制	関連する業務、物質	遵守状況の確認・評価
廃掃法	◎産業廃棄物管理票の管理	マニフェスト(B1票、C2票等)の管理	問題なし
	◎産業廃棄物の収集・運搬、処分	収集・運搬および処分の適法下実施の支援 収集・運搬適法下の実施	問題なし
毒物及び劇物取締法	◎毒物劇物営業者に係わる規制	毒物劇物の販売支援 (酸、アルカリ等の販売)	問題なし

11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

- ① テレアポマニュアルに基づきアポを実施
- ② 新規顧客を開拓、顧客数を増やし売上に貢献
- ③ 引き続きテレアポを実施し、新規顧客を開拓する。
- ④ 未利用資源の活用により、環境への負荷を低減